

2022年6月16日

2023年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第5回 6月下旬分)

香川県水産試験場 環境資源部門 (植田)
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

卵の出現数は前年および平年より少なかった。

前年	2022年6月15日	(7点の平均)	21.6 個/m ³	
前回	2023年6月1日	(7点の平均)	14.4 個/m ³	
今回	2023年6月15日	(7点の平均)	10.6 個/m ³	
			※6月下旬の平年値	32.2 個/m ³

○カタクチイワシ仔魚の出現状況

仔魚の出現数は前年より多く、平年より少なかった。

前年	2022年6月15日	(7点の平均)	0.2 尾/m ³	
前回	2023年6月1日	(7点の平均)	3.0 尾/m ³	
今回	2023年6月15日	(7点の平均)	1.2 尾/m ³	
			※6月下旬の平年値	5.3 尾/m ³

○プランクトン調査

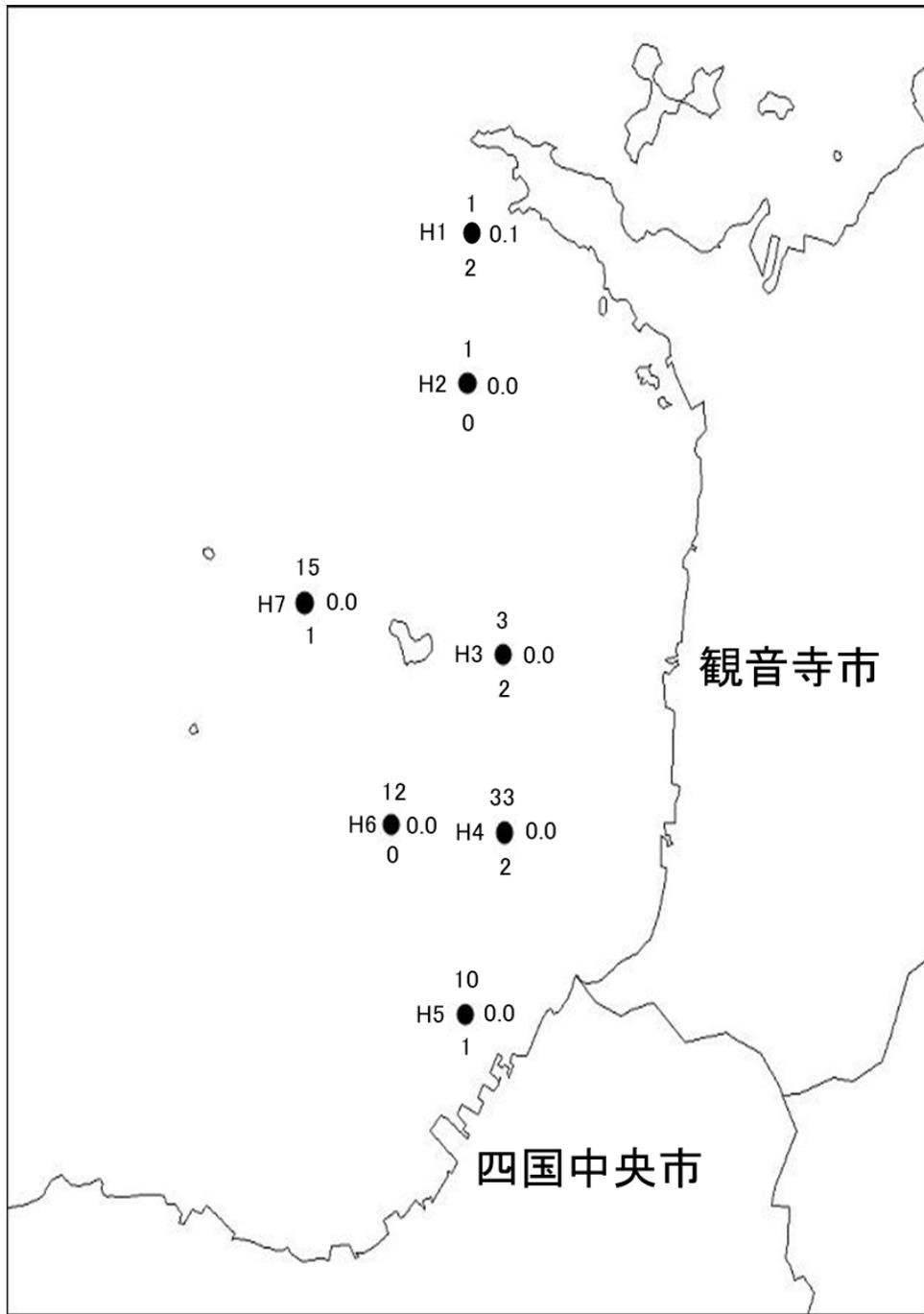
すべての定点で夜光虫(ノクチルカ)及び珪藻類が優占した。
カタクチイワシの餌となるカイアシ類は、前年より多く、平年より少なかった。

○カブトクラゲ調査

カブトクラゲは前年及び平年と同程度であった。

次回の調査は7月5日(火)に実施予定

カタクチイワシ卵稚仔採集状況(2023/6/15)

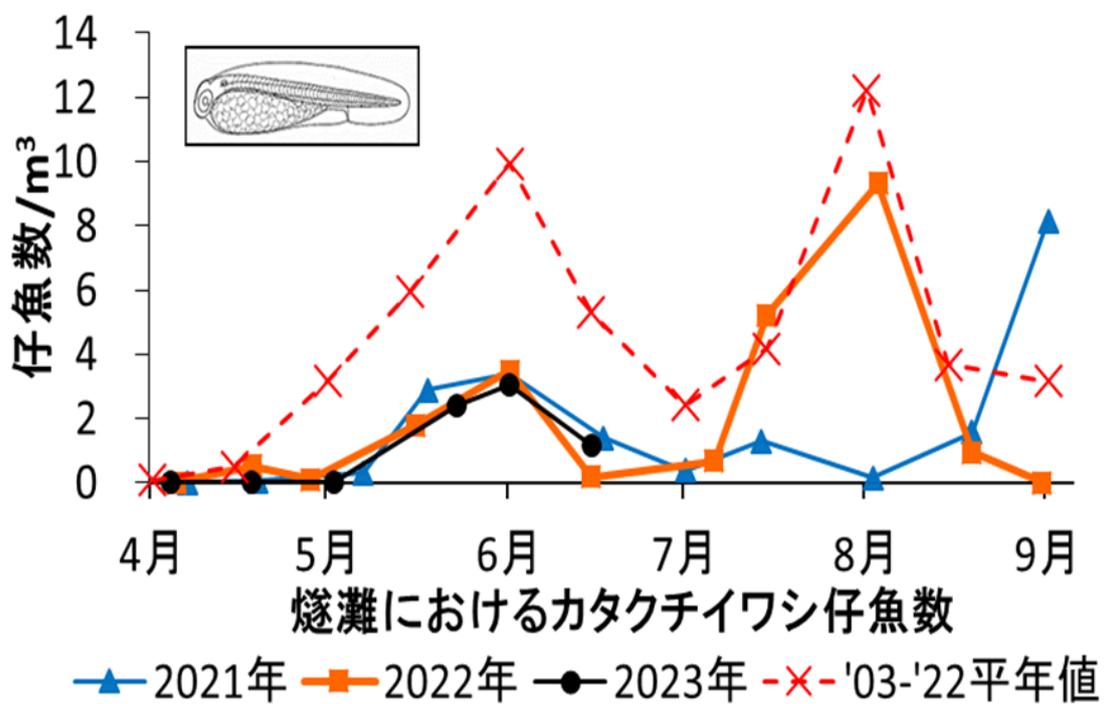
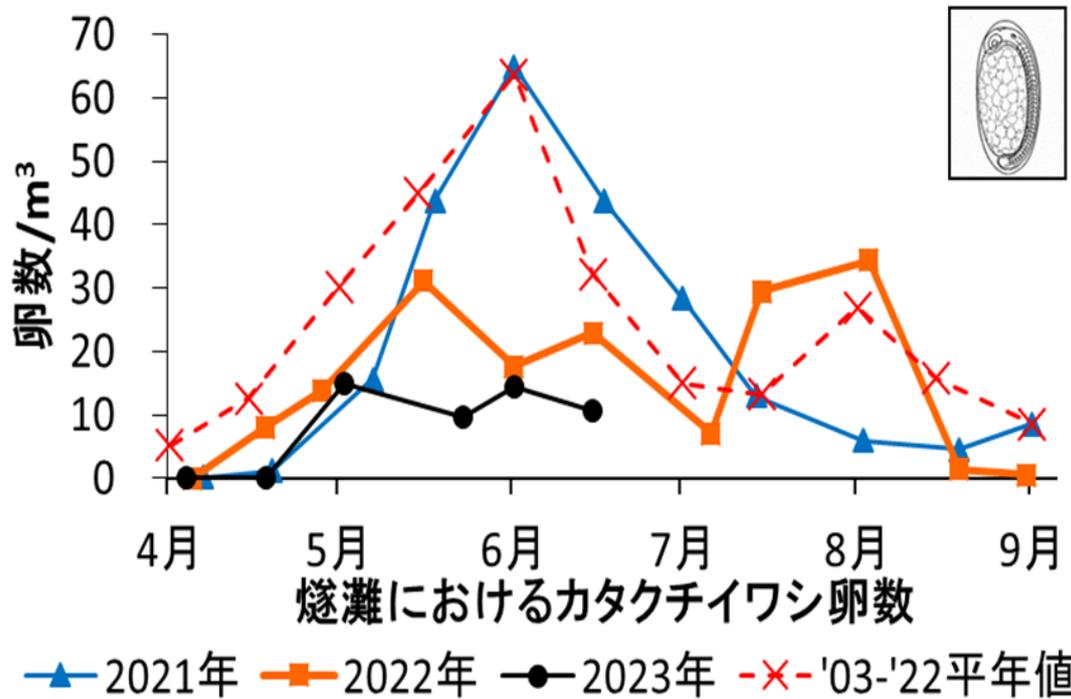


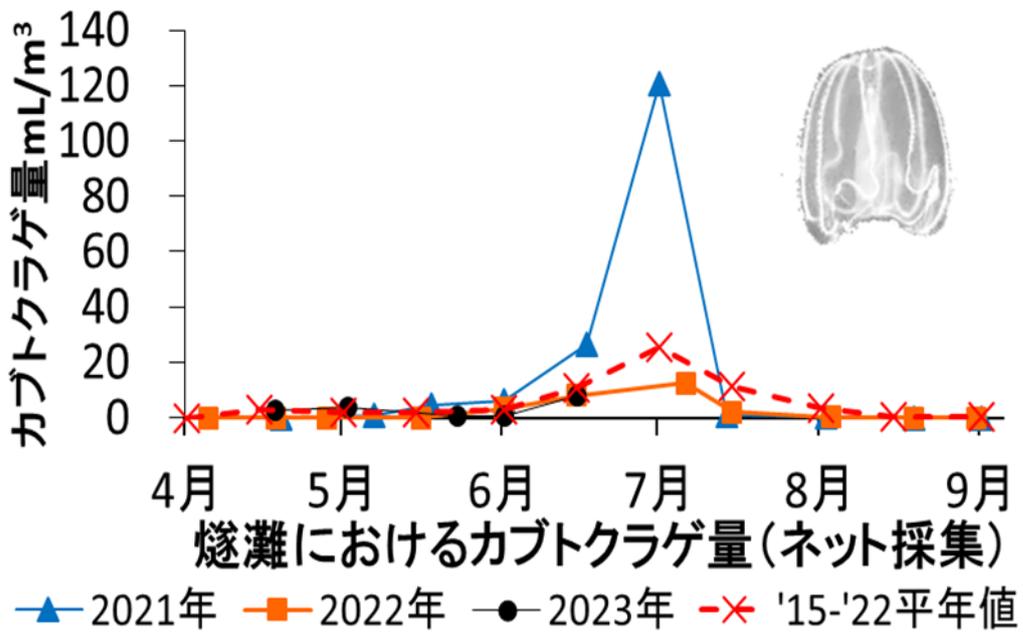
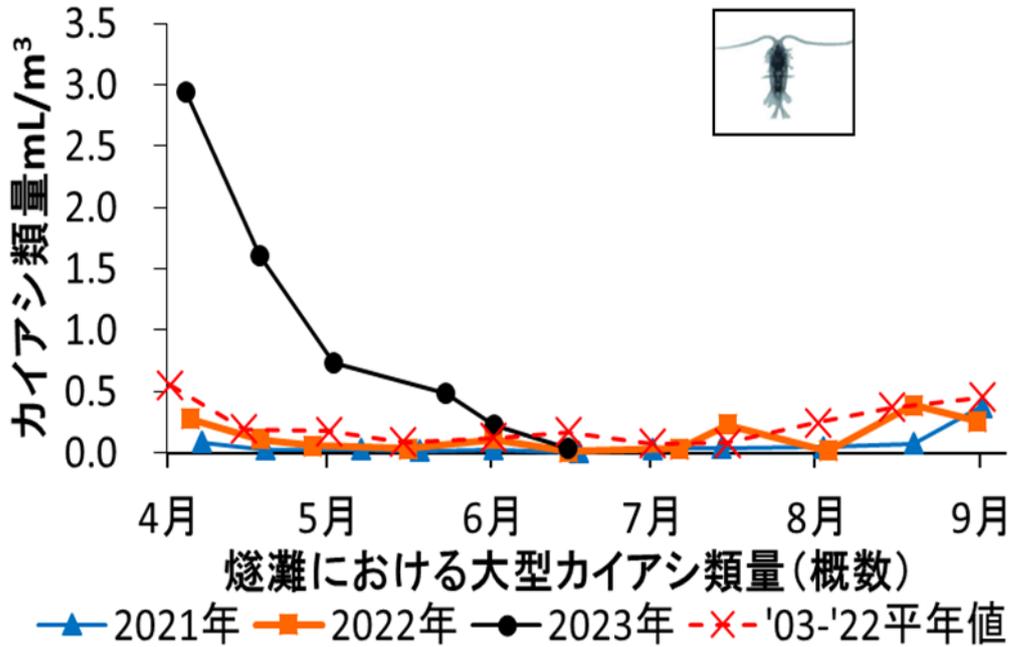
●の上側がカタクチイワシ卵密度(卵数/m³)を,
下側がカタクチイワシ仔魚密度(仔魚数/m³)を,
右側がカイアシ類密度(カイアシ類量ml/m³)を示す。

※カイアシ類量は、プランクトン採集量(0.335mm以上)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出した概算値。

※卵稚仔数は小数点以下第一位を四捨五入した値。

21 ← 卵密度
凡例 ● 0.6 ← カイアシ類密度
5 ← 仔魚密度





※カイアシ類量は、プランクトン採集量（沈殿量）に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。

※カブトクラゲは、丸特Bネットによる全定点の平均採集量。

※この報告の情報により不利益等が発生した場合において、水産試験場は何ら責任を負いません。

2023 年度燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査(5回目)

調査日: 2023/6/15

S T	曳網水深 (m)	表層水温 (°C)	カタクチ卵	マイワシ卵	その他卵	カタクチ仔魚	マイワシ仔魚	その他稚仔
H1	20	22.2	5	0	5	6	0	4
H2	20	22.2	4	0	2	0	0	0
H3	20	21.4	11	0	2	8	0	3
H4	20	22.7	184	0	2	12	0	4
H5	20	22.8	71	0	4	7	0	6
H6	20	21.6	65	0	1	1	0	1
H7	20	22.0	60	0	6	4	0	2
平均		22.1	57	0	3	5	0	3

※卵稚仔数は採集数を示す。